

1. 評価結果概要表

作成日 平成 22 年 2 月 8 日

【評価実施概要】

事業所番号	0572608230
法人名	有限会社 エネルギーのささき
事業所名	グループホームやまゆりの家
所在地	秋田県大仙市南外字下木直519番地4 (電 話) 0187-73-1177
評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田県秋田市東通3丁目9-31
訪問調査日	平成22年2月8日

【情報提供票より】 (平成21年12月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年4月15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 13 人, 非常勤 5人, 常勤換算	15.2

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1 階建ての	～ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	7,000 円
敷 金	有 (円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 100 円
	または1日当たり		

(4) 利用者の概要 (12月1日現在)

利用者人数	17 名	男性 4 名	女性 13 名
要介護 1	1	要介護 2	6
要介護 3	7	要介護 4	3
要介護 5		要支援 2	
年齢	平均 83 歳	最低 68 歳	最高 100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	仙北組合総合病院、伊藤医院、船木歯科医院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然豊かな南外地区に「この空気が一番」と語られる利用者に「私らしく、あなたらしく、毎日が心豊かに過ごせるように、共に支え合い、たたえ合い、伸ばしあって、私たちは共に歩む」を理念に、利用者の安心と安全を支援できるように知識・技術の向上に努められているホームです。ホーム周辺には、遊歩道を設け、風や四季折々の風景、草花を楽しんでいただき、「やまゆりの農園」では、田植え(手植え)からの稲作、果樹、畑づくり等、経験を活かし、収穫を楽しまれる等、食卓をにぎわしています。また、火災・地震・水害対策マニュアルを整備され、河川の氾濫等を想定し、小学校や地域の方々の理解・協力を得て、今回初めて、水害に対する避難訓練を行う等、優れた取り組みも観られました。さらに詳細なアセスメントによって利用者理解が行われ、意向が汲み入れられ、笑顔と生き活きとした表情あふれるホームが確認できました。

【重点項目への取組状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、職員を育てる取り組みについて、経験年数等の段階に応じ、計画的に職員を育成する取り組みを期待されており、改善が観られました。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全職員が、各自自己評価に取り組み、項目ごとに理解できない職員には、説明が行われ、理解していただいた後、記載していただき、職員間で話し合われ、管理者がまとめられました。
	②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 包括支援センター職員、社会福祉協議会理事、民生児童委員、家族、利用者、事務長、管理者、職員が出席され、2か月に1回の会議が行われています。保険者状況、活動内容、その他、自己評価、救急救命講習、ケアプラン、防災訓練、実習生の受け入れ、感染症、グループホームの理解等々、次第に沿って報告や話し合いが行われ、地域への発信、ホームの質の向上に意欲的に取り組まれております。
重点項目	③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 契約時の説明、玄関への掲示、ご意見箱の設置、ケアプラン作成時の意見の聴取、毎月送られる利用者の詳細な状況報告、面会時の状況報告時や電話等によって、意見や要望、意向の確認が行われ、運営への反映が行われています。
重点項目	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 運営者が地域の一員であり、自治会や地域活動に積極的に参加されている他、利用者・職員は、散歩時に挨拶や言葉を交わし、お花をいただいたり、火災や水害の防災訓練時には協力をもらい、一緒に訓練に参加いただく等の交流があります。また、幼稚園児の発表会に出向いたり、訪問を受けたり、小・中学生の訪問学習、民謡ボランティアの受け入れ等が行われ、地域の方々の招待も行い、地域に根差したホーム作りが行われています。

2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、「私らしく、あなたらしく、毎日が心豊かに過ごせるように共に支えあい、たたえ合い、伸ばしあって私たちは共に歩む」を理念に掲げ、事業所独自の理念を作り出しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員によって作り上げられた理念は、見やすい位置に装飾品のように掲示されており、朝夕の申し送り時に唱和され、意識付けによって日々のケアに活かすことができるように取り組まれ、実践されています。また、広報への掲示もあります。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営者が地域の一員であり、自治会や地域活動に参加され、ホームの地域への浸透を図り、職員や利用者は散歩や買い物時、気軽に声を掛け合い、悩み事相談にのる他、幼稚園・小・中学生の訪問、アトラクションボランティアの来訪等、地元の人々との交流が盛んに行われています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全員が評価の意義を理解され、幹部会議や職員会議等で評価を活かした話し合いの場を持たれ、サービスの質の向上を目指し、具体的に取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	包括支援センター、社協理事、民生児童委員、家族、利用者、管理者、事務長、職員がメンバーとなり、2か月に1回定期的に開催されており、グループホームの利用状況、活動状況、研修報告、その他時々話題を提示され、意見交換が行われ、サービスの向上に活かしています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	広報を年に1回発行しておられ、市・社協に届け、見ていただけるようにしたり、相談や助言等をいただきながら連携を図り、サービスの質の向上に取り組まれています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月発行される「やまゆりの家だより」に担当職員が一月の生活状況・健康状況、その他依頼したこと等が詳細に記入され、写真を添えて暮らしぶりを伝えている他、面会時や電話等によって、随時、報告が行われています。また、金銭状況についても、毎月報告と確認が行われておます。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時に説明と事業所内の掲示、意見箱の設置等によって、意見や要望、苦情等の引き出しに努めています。また、家族からはプランの更新時や面会時に、利用者からはさりげない会話から、要望や意見を見出し、運営に反映しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	やむを得ず、離職や異動がある場合は、利用者へのダメージを最小限に抑えられるように言葉かけが行われております。また、新規採用職員についても定着するまでのおよそ3か月間は紹介の仕方に工夫をされ、利用者への配慮が行われております。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修については希望や段階に応じ積極的に参加できるように取り組み、研修報告や資料等の回覧が行われています。また、内部研修については、年間計画を立て行われている他、職員からの要望を取り入れ、都度研修を行う等、優れた取り組みが観られます。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会が開催する職員研修に、積極的に参加され、交流を深めております。また、他のグループホームと相互訪問を行うことによって互いのサービスの向上に取り組まれております。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	本人や家族が安心してサービスを利用できるように、これまでの生活環境にできるだけ近づける工夫をされ、見学や体験利用をしていただき、雰囲気馴染んでから、開始されるなどの工夫が見られます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	長い人生経験の中から、豊富な知識を活かしていただけるように、日々の生活の中で教わり、支えあう関係づくりが行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で、一人ひとりに向き合い、思いや意向の引き出しや把握に努め、本人の気持ちを尊重したケアが行われています。また、困難な場合でも、利用者の立場に立ったケアが行われるように話し合いがもたれております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	詳細なアセスメントが行われており、担当職員が本人の思いや意向、家族の要望等が反映したプランを作成し、職員間で話し合いが行われた後、介護支援専門員が最終的にケアプランを作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月から6か月のケアプランが立案されており、週に1回、プランに沿った状況評価が行われ、日誌に記載されています。それらを基に状況によりプランの見直しが随時行われ、変化の無い場合は、期間終了時に見直しが行われております。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、要望に応じ、買い物や外出等の相談に柔軟に対応されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関からは、2週間に1回の往診が受けられ、緊急時にも往診や助言指導をいただき、薬局等との連携もあり、利用者支援が行われています。また、希望の病院への受診については、家族対応が行われています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療的な処置が必要な場合には、ホームとしての限界があることが家族等に伝えられ、意向に沿った支援が行われています。また、職員はホームの方針を理解し、共有しております。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の記録等の個人情報の取り扱いについては、書庫に保管され、他の利用者の中で利用者のことを話さないようにされる等、プライバシーに配慮されています。	○	利用者の閉め忘れから、トイレの戸が開放されている状況や開放されたまま排泄介助を行っている場面が観られました。プライバシーの確保に取り組まれ、徹底されることを期待します。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの生活リズムやペースを尊重され、その人らしい希望に沿った支援が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜を切っていただいたり、下ごしらえ、味付けや調理方法についての助言をもらいながら、利用者も交えて調理が行われ、楽しみながらの食事や片づけが行われています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には、1日置きの入浴としていますが、毎日でも入浴は可能で、希望に応じ、入りたい時に入れるように支援されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自分でやりたいと申し出る方や日常生活の中からできることを見つけ出し、その人の力量に応じて、お絞りたみやモップ掛け、食事の準備・後片付け、折り紙や習字、ぞうり作り、文字練習等、楽しみながらできるように支援が行われています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お天気の良い日には、散歩や近くの商店での買い物、農業科学館でのお花見、帰省、大型スーパーでのショッピング、ドライブ等々、希望に沿って日常的に外出支援が行われています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	鍵をかけることの弊害を理解されており、全く鍵はかけられておりません。見守り強化が行われ、外出されたい方には、職員が付き添い支援されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災・地震・水害対策マニュアルを作成され、火災発生時の避難訓練が年に2回、日中・夜間を想定し、消防署員立ち会いのもと行われています。また、水害時の避難訓練も行われ、小学校や地域の方々の協力を得て実施される等、優れた取り組みが行われています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	年に2回これまで立てた献立表に管理栄養士からの助言をいただき、栄養バランスや摂取カロリーに配慮したメニュー作りが行われています。摂取量をチェックし、不足となっている利用者については、代替え食や補食を行い、健康に留意されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には、観葉植物や写真、利用者の作品、地域の方の作品等が飾られ、ソファやテレビの配置、余裕のある食堂テーブル等で生活感や季節感を十分に取り入れ、ブラインドによる日差しの調節、換気による臭いへの配慮等により、居心地良く過ごせるように工夫が観られます。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者本人が身の回りで使用していたテーブルや小物、テレビ、大正琴、バイオリン、お位牌等が持ち込まれ、趣味のものや手作りの作品、写真等で装飾され、ベッドや畳敷き等意向や状態に沿った自身の生活スペースを作り出しています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。